

◇会議報告◇

米国財務会計基準審議会（FASB）との 第 36 回定期協議の概要

ASBJ 専門研究員 浅野 匠彦

1. はじめに

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2026 年 7 月 31 日に米国財務会計基準審議会（FASB）との間で、第 36 回定期協議をノーワークで開催した。ASBJ からは川西委員長、紙谷副委員長、古内副委員長、矢野常勤委員が参加した。FASB からは、Richard R. Jones 議長、Hillary H. Salo 副議長、Jackson M. Day テクニカル・ディレクター、Helen M. (Nellie) Debbeler テクニカル・ディレクター代理のほか、議題に応じて Frederick L. Cannon 理事、Susan M. Cosper 理事、Catherine Shakespeare 理事、及び担当スタッフが参加した。

なお、文中の意見にわたる部分は、筆者の私見であり ASBJ の見解ではない。

2. 全体のスケジュール

日 程	議 題
7 月 31 日	アップデート
	のれん
	企業結合
	持分法
	ラップド・トークン（Wrapped tokens）
	リスク軽減会計
	金融商品の条件変更

3. 議事概要

(1) 近況報告等

FASB 及び ASBJ の双方の代表者より近況報告がなされ、意見交換が行われた。

FASB の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 2025 年アジェンダ協議
- テクニカル・アジェンダ
- リサーチ・アジェンダ
- 損益計算書における費用の分解についてのフィードバック
- 発生問題専門委員会の活動状況
- 現在予想信用損失（CECL）についての適用後レビュー

ASBJ の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 日本基準の開発状況
- 国際的な意見発信に関する活動状況

(2) のれん

ASBJ の代表者より、のれんの償却に関する課題への対応についての ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(3) 企業結合

ASBJ の代表者より、企業結合における無形資産の認識並びに取得した資産及び引き受けた負債の測定についての ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(4) 持分法

ASBJ の代表者より、本来は持分法で会計処理される投資に対する公正価値オプションの適用についての ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(5) ラップド・トークン（Wrapped tokens）

ASBJ の代表者より、ラップド・トークンの会計上の取扱いに関する諸論点についての ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(6) リスク軽減会計

ASBJ の代表者より、2025 年 12 月に IASB が公表した公開草案「リスク軽減会計 – IFRS 第 9 号及び IFRS 第 7 号の修正案」で提案されているリスク軽減会計モデルに関連する諸論点についての ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

(7) 金融商品の条件変更

ASBJ の代表者より、金融商品の条件変更により金融資産の認識を中止するかどうかの規準及び金融資産の将来キャッシュ・フローが変動した場合の会計処理についての ASBJ スタッフの考察が示され、議論が行われた。

4. 次回の予定

次回の定期協議は、2027 年の前半に東京で開催することが予定されている。

FASB オフィスで記念撮影



会議中の様子



以 上